

データ作成の注意点

弊社では頂いたデータの修正はしておらず、お客様にデータを修正して頂いた上で再入稿をお願いしております。データの不備がありますと納期が遅れる原因となります。ご入稿前に十分な確認をお願い致します。

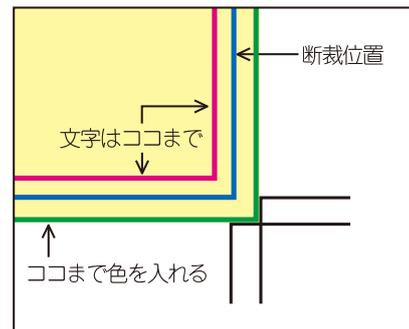
□仕上がりライン

□デザインスペース

仕上りの余白が出ないように仕上げる場合は、**緑線**までデザインを作成して下さい。

□印字有効スペース

切れては困る文字や図柄はピンクの枠内に配置して下さい。
囲み枠デザインがピンクの枠の外側にありますと均等とならない場合があります。



イラストレータでのデータ作成

対応バージョン 5.5 / 7.01 / 8.01 / 9.02 / 10.0.3 / CS (11.01)

1. カラーモードは**CMYK**で作成して下さい。RGBで作成した場合、モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
2. Illustratorでは必ず「トリムマーク」を使ってトンボ(仕上りサイズに断裁するために必要な目印)を作成して下さい。
3. 断裁ラインの天地左右に各3mmの塗り足し分を必ず作成して下さい。※1
(※1色が断裁ラインギリギリですと、断裁のズレにより隙間ができてしまうため印刷サイズまで色を塗り足します。)
4. ヘアライン(線幅のない塗りのみの指定のライン※2)は印刷の時に消えてしまいます。ご注意ください。
(※2 塗りで作った線はモニター上で見えていても、印刷時にかすれたり消えたりするため、印刷ができません。)
5. Illustratorで画像をリンクしている場合は、**リンク画像**も一緒にデザインデータのフォルダに入れて入稿して下さい。
6. データの保存形式はai形式かeps形式にして下さい。

フォトショップでのデータ作成

対応バージョン 5.02 / 5.5 / 6.01 / 7.01 / CS (8.01)

1. 印刷物で十分な品質を確保するためには画像解像度の確認をしてください。
写真などの画像データは、原寸サイズで300~350dpiの解像度が必要となります。
文字などの線画の画像データは、原寸サイズで600~1200dpiの解像度が必要となります。
2. カラーモードは**CMYK**で作成して下さい。RGBで作成した場合、モニター上で見た色と印刷した際の色との発色に大きな差が出ます。
3. レイヤーの表示・非表示などで、印刷されないレイヤーがあったりすると印刷時にトラブルの原因になる可能性があるため、作業中に作成した印刷に使用する全てのレイヤーは、1枚の背景レイヤーに統合し保存して下さい。
4. 保存形式は**eps形式**か**psd形式**、または**高画質のJPEG**で保存して下さい。

Office系ソフトでのデータ作成

Office系アプリケーションは、データをそのまま印刷することはできません。

データを変換し印刷ができるようにしています。この変換作業において**色合いの変化**や**レイアウトの崩れ**などが起きますので、注意してデザインデータを作成をお願い致します。

※**テンプレートに示されている説明は「削除(トンボは印刷時に必要)」をして頂き、データをご提供下さい。**

※**【注意】**印刷時に意図していない問題が起こる場合があります100%解決する訳ではありません。

変換後のデザイン確認用データをお送りいたしますので**ご確認頂いてから進行**となります。

※Office系データを変換の際、弊社にて**データ修正が必要な場合は納期が遅れます。**

**弊社環境による変換の為、お客様の意図と違う内容となる可能性があります。
PDFデータに変換して頂き、ご入稿をお勧め致します。**

1. 弊社にない書体を使用されている場合、データ変換後に異なるフォントに置き換えられます。
お客様と弊社環境および対応フォントの違いにより発生してしまいます。可能な限りの似た書体での対応となります。
2. データ内の文章中に、意図しない改行が発生してしまう場合があります。
3. 透明効果を使用しているデザインデータの場合、正常に変換ができない場合があります。
Office アプリケーション固有の機能に依存する効果は失われることもありますのでご注意ください。
4. Office系データのカラーモードはRGB形式であり、オフセット印刷のカラーモードのCMYK形式に変換すると色合いが変わることがあります。
RGB特有の鮮やかな色は大きく変化が出てしまいかなりくすむこともあります。あらかじめご了承下さい。